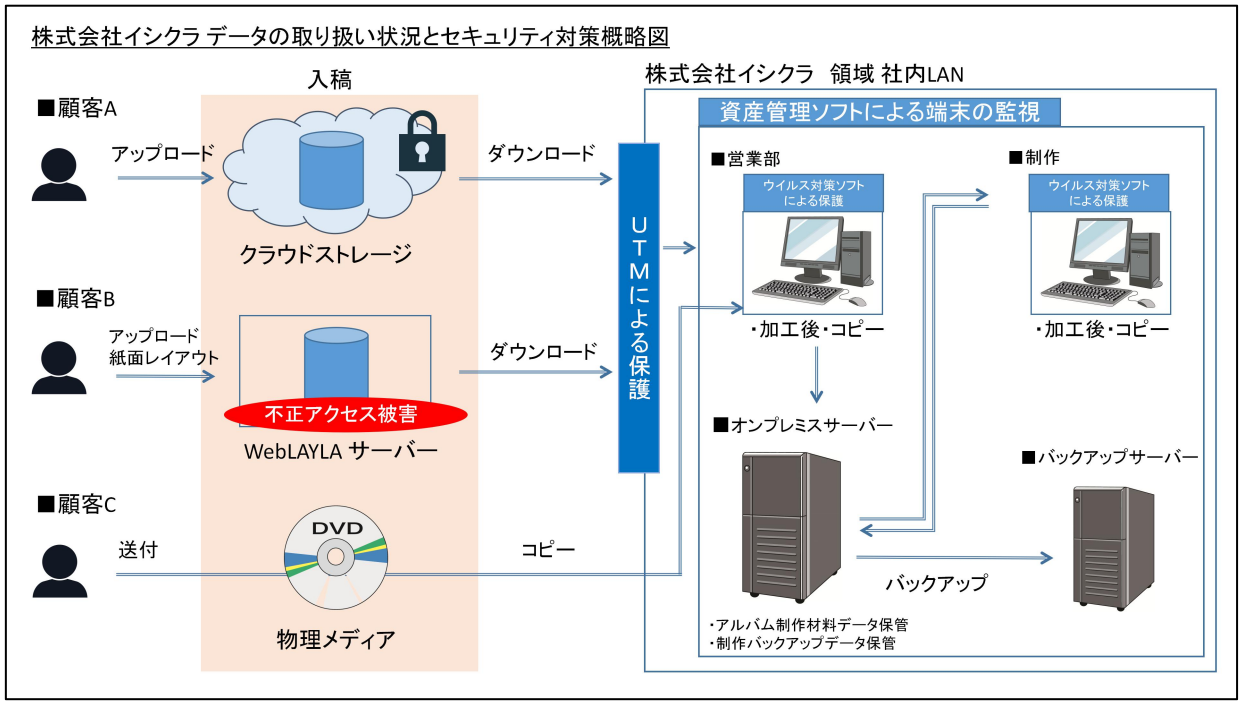
１．不正アクセスの概要

不正アクセスの被害にあったレイアウトシステム WebLAYLA について

WebLAYLA は弊社顧客である写真館様、卒業アルバム制作御担当者様など（以下、顧客）が画像のアップロードと紙面レイアウト指示の作成が行えるサービスとして弊社が提供しており、弊社はアルバム紙面制作に必要なデータを受け取る目的で利用しております。弊社では WebLAYLA を含めた媒体を通して顧客からアルバムの紙面制作に必要なデータを受け取ることをアルバム制作の工程上「入稿」と定義しており、「入稿」には WebLAYLA だけでなく、クラウドストレージの box や DVD 等複数の手段を用いております。なお、2023 年度の卒業アルバムにおいて WebLAYLA を利用し「入稿」された学校数は受注全体に対して約 9%程度になります。

また下図通り得意先より WebLAYLA 上にアップロードされたデータは、弊社がダウンロードし制作工程で加工されて社内のサーバーに保管されます。今回毀損の被害にあったデータは弊社でダウンロードが完了しており、制作工程等を経て社内のサーバーに格納された状態にありました。その為、アルバム納品業務の遂行において影響を及ぼすことはございませんでした。

図１：株式会社イシクラ　データの取り扱い状況とセキュリティ対策概略図



被害にあったサーバーについて

2024 年 5 月、WebLAYLA サーバーの保守管理を行なっているシステム会社が、外部機器の交換を修理業者に依頼したところ、修理業者が行った外部機器の設定に不備があり、その脆弱性から攻撃をうけました。システム会社で不正アクセスを認知後、通信遮断等の措置を行いましたが、サーバーに保存された写真データ等の一部が毀損する被害が発生いたしました。

その後、システム会社による通信ログの調査（後述）により、外部からの情報の抜き取りはないことが確認されました。

図２：本事案に関する弊社とシステム会社との関係図